

福井地区

福井地区 ワークショップ実施概要

テーマ	“住み続けたいまち”を旨して、福井地区の未来を考えよう		
実施内容	第1回	令和4年8月7日(日) 13時30分-15時30分	22人
		・福井の魅力と課題、将来像を考えよう	
	第2回	令和4年9月11日(日) 13時30分-15時30分	23人
		・福井地区の夢を実現するためのアイデアを考えよう	
	第3回	令和4年10月10日(月) 13時30分-15時30分	20人
		・福井地区の夢を実現するための具体的な方法を考えよう	
結果概要	<p>福井地区には多様な団体があるが、横軸の連携が図れておらず、「地域の課題にみんなと一緒に取り組めない」、「地区の課題に目をつぶらざるを得ない」という課題を抱えていた。まずは「情報共有できる場」を作るために、福井コミュニティ協議会設立に向けて検討を進める中で、下記の目的をもってワークショップを行った。</p> <p>(1) みんなで地域の課題を共有すること</p> <p>(2) まちづくりにおける「夢」を描き、まちづくりの楽しさや「意義」を感じてもらふこと</p> <p>(3) 各団体の活動を知り、相互に連携することで、活動の負担が減少し、活動が楽しく持続できる可能性に気付けるようにすること</p> <p>(4) 具体的な取り組みや連携につながるアイデアを出し合い、地域としての活動の方向性を検討すること</p> <p>○若い人(子育て世代)の流入を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を増やすために空き家や空き地の活用ができるといいかも! ・ファミサボの実施を促進したり、利用を促進できるといいかも! ・地域が子育てや学校も支えることができたらいいかも! <p>⇒子どもも高齢者も遊び集える場として、放課後教室と高齢者の居場所づくりを学校で行うのはどうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に地域活動に参加してもらうためにも、子どもたちが絡んだことをするといいかも! <p>⇒子ども教室を開くのはどうか?</p> <p>○福井ならではの魅力を活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井人材育成”聞き書き体験”イベントをひらけるといいかも! ・「ここならではの」のある公園をつくるのはどうか? ・地域にある魅力を活かして、情報発信を行うといいかも! <p>⇒福井を代表するブランド品をつくりPRすると、地域外からたくさんの方が訪れてくれそう!</p>		

	<p>○子どもが地域に愛着を持てるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井について知ってもらおうといいかも！ ⇒子ども参加型のクイズラリー形式を取り入れた福井歴史散策を行うのはどうか？ ⇒子どもが参加したくなる「郷土学習」を開くのはどうか？ ⇒山を使った「プレーパーク」を整備するのはどうか？ ⇒福井を福井っ子（福井地区の子ども）が紹介するプログラムをつくるのはどうか？ <p>○交流を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人だけでなく、地域外の人とも交流できるといいかも！ ⇒未来コンビニのような直売所をつくり、地元の人も地域外からくるひとと交流できるような場所をつくるのはどうか？ ⇒小学校に投書箱を設置し、まずはいろんな意見を集めてみたい！ <p>○コミュニティ協議会のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動一覧のリストの作成から始めるのはどうか？ ・各活動の負担を減らすためにも、まずは団体間の困りごとや意見を聞けるようにするといいかも！ ⇒どんと焼きのイベントのボランティア募集をしてみる！ ・後継者の育成をするためにも、組織づくりの構想をしたい！ ⇒地域の先輩等にお世話になりながら、次世代につないでいく仕組みや仕掛けを作っていく。 ⇒地域行事や組織運営に、大人だけでなく、中高生にも参画してもらい、次世代のリーダーを育成していく。 ⇒持続可能な組織運営を目指すために、会議を少なくすることや、引継ぎを丁寧に分かり易くすること、マニュアルを整備したりすることも重要。
来年度以降 に向けて	<p>令和5年度6月に協議会結成予定。初年度、組織を運営しながら、下記の点を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな活動を行う必要がある場合に、団体連携による取り組みを促す ・人材・資源・活動内容（支援・調整）を融通・調整 ・地域全体での取り組みを企画・運営・コーディネート ・各団体間のコミュニケーションの場を提供 ・新しい活動の立ち上げを支援

【WSの様子：写真】

第1回



第2回



第3回



第1回資料

“住み続けたいまち”を目指して、 福井地区の未来を考えよう

第 1 回

2022年8月7日（日） 13:30-15:30



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

地域コミュニティの現状

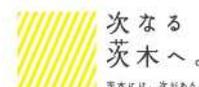
【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（54.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感





【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」
への影響が懸念される。

そこで！！



ワークショップについて

平成30年度から、各小学校区でワークショップを実施しています。

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」



ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	福井の魅力と課題、将来像を考えよう	・魅力と課題を洗い出すことで、「福井はこんなまちだ」といった現在のまちの姿を共有し、また「こんなまちにしていきたい」といった将来像をみんなで共有します。
第2回	福井地区の夢を実現するためのアイデアを考えよう	・将来像（夢）を実現するために、「関連する今ある活動」と「今後取組が必要な活動」をみんなで共有します。
第3回	福井地区の夢を実現するための具体的な方法を考えよう	・できるだけ具体的なプランを考え、次年度以降（と言わずにすぐにでも？）の取り組みにつなげていく機運を盛り上げることを目標とします。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

福井の魅力と課題、 将来像を考えるワークショップ

13:30- 開会挨拶・ワークショップの説明など

13:40- 話し合いの準備運動（アイスブレイク）

13:45- ワークショップ①

魅力カードと課題カードを使って福井地区の魅力と課題を見つけよう

14:25- ワークショップ②

魅力を磨き、課題の解決に取り組んだ際に実現できる
「地域の将来像（夢）」を考えよう”

15:05- 発表・意見交換

15:25- 今後に向けて・閉会挨拶



話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

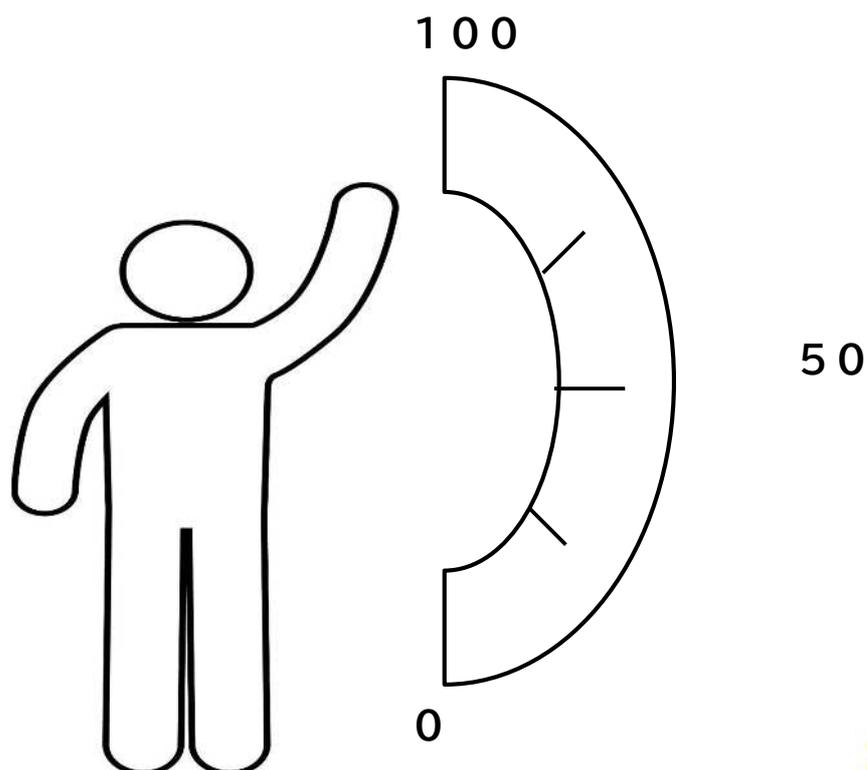
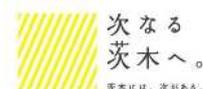
手上げゲーム

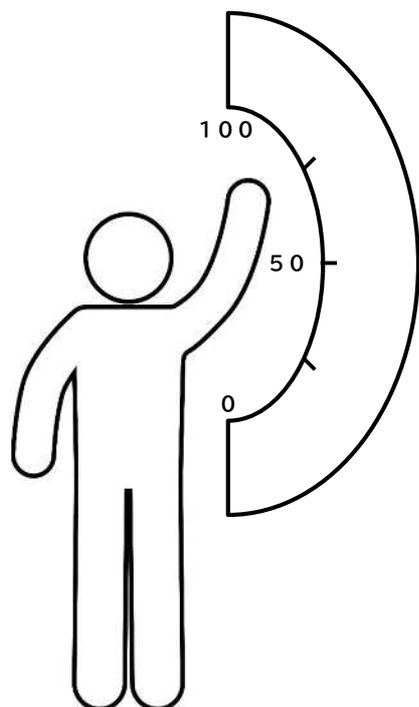
いくつかの質問に対する答えを
手を挙げる角度で表現するゲーム
周りの人の手の角度も見てくださいね

接触せずに・・・

身体も少し使えて・・・

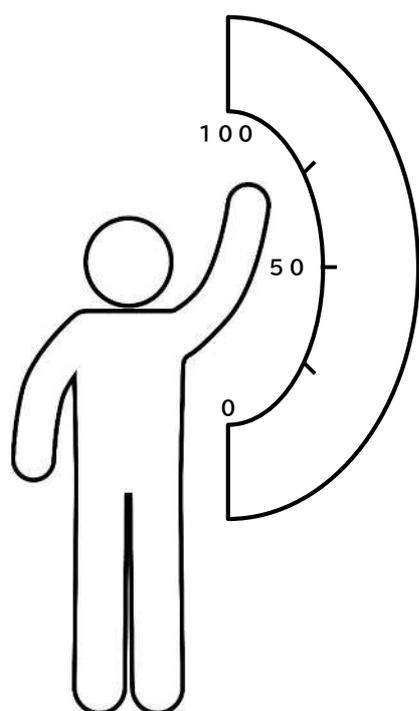
参加者の考え方の一端が見える





問1)
今日は、2022年で、
〇〇%経過しているでしょうか？

→正解) 60.0% (219日目)



問2)
茨木市の高齢化率 (65歳以上人口率)
は何%でしょうか？

→正解) 24.2%

*住民基本台帳 (2022年6月30日現在)

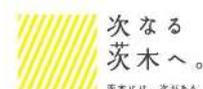
ちなみに・・・

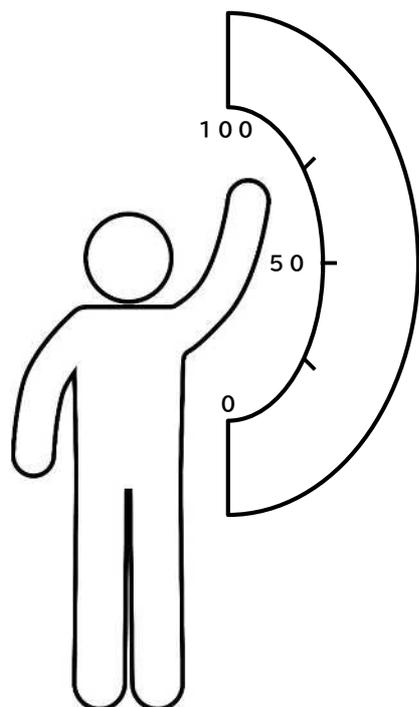
全 国：28.2%

*総務省・住民基本台帳 (2021年1月1日現在)

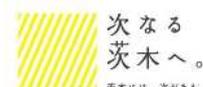
大阪府：27.0%

*住民基本台帳 (2021年1月1日現在)





問3)
福井地区の愛着、
LOVE指数は何%でしょうか？



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループでの話し合い

- ①魅力カードと課題カードを使って福井地区の魅力と課題を見つけよう
- ②魅力を磨き課題の解決に取り組んだ際に、「実現できる地域の将来像（夢）」を考えよう

話し合いのゴール（目的）

魅力と課題を洗い出すことで、「福井はこんなまちだ」という現在のまちの姿を共有し、また「こんなまちにしていきたい」といった将来像をみんなで共有します。

→今回話し合った「将来像」を実現するためのアイデアを次回検討するので、福井の「魅力」と「課題」をできるだけたくさん見つけましょう。



福井の魅力はなんだろう

自慢できる・良い場所や活動
出し合おう！

丸ドットシールと付箋を使って、福井の魅力を地図に書き出そう！

思いつくものがなければ、「魅力カード」を引いて、カードに書いている内容から連想される魅力を話してみよう

【例】
こんな
お祭りがあるよ



【例】
利便性が
高く住み
やすいよ

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

魅力カード

よく行くお店 (物販・飲食・サービス・ レジャー など)	昔から変わらないなと 感じる風景	こどもの遊び場	公園
お祭り	催し	伝統・文化・言い伝え	身近に感じる自然
移動や買い物の利便性	こんな人がいるよ	美しい風景・場所	くつろぎの場所
最近、新しくできたお店	いつも集まる場所		

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

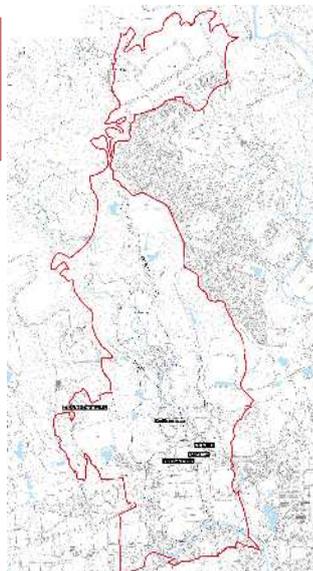
福井の課題はなんだろう

福井の課題や困りごとを書き出そう！

丸ドットシールと付箋を使って、課題を書き出そう！

思いつくものがなければ、「課題カード」を引いて、カードに書いている内容から連想される魅力を話してみましよう

【例】
防犯・
防災を考えたい



【例】
空き家
が増えてきた



課題カード

生活マナー・ モラル 	住環境の問題 	地域活動団体の 担い手不足 	子育てや 教育の問題
空き家の増加 	防災・防犯 	こんな場所があったらいいな (今はないけど...) 	交通安全
高齢化が進むことで 出てきた問題 	コミュニティ(つながり) の希薄化 		
少子化が進むことで 出てきた問題 	コロナへの対応 		



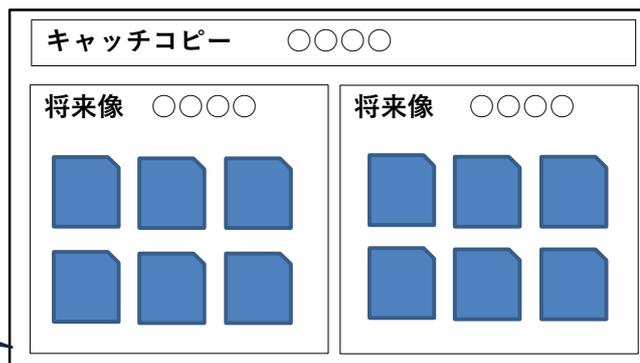
福井の将来像を考えよう

魅力と課題が書かれた模造紙を見ながら、
どんなまちにしたいか意見を出し合おう！

- ① 魅力を磨いて、もっとこんなまちにしたい
- ② 課題を解決して、こんなまちにしたい

模造紙イメージ

- ・ 将来像は1つに絞らなくても大丈夫です。
- ・ 将来像を検討したあと、キャッチコピーを1つ設定してください。



どのようなまちになれば、住みたいと思えるのか、意見を出し合いましょう！



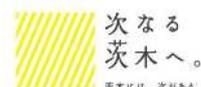
グループに分かれて話そう

自己紹介

① 名前

② 所属団体等と
活動内容

③ 各グループで自由に



発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ①話し合いの中で見つけた魅力や課題
- ②話し合っただけ考えた「地域の将来像（夢）」

1 グループ5分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、
話し合いの材料を用意します。

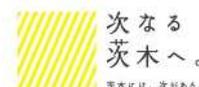


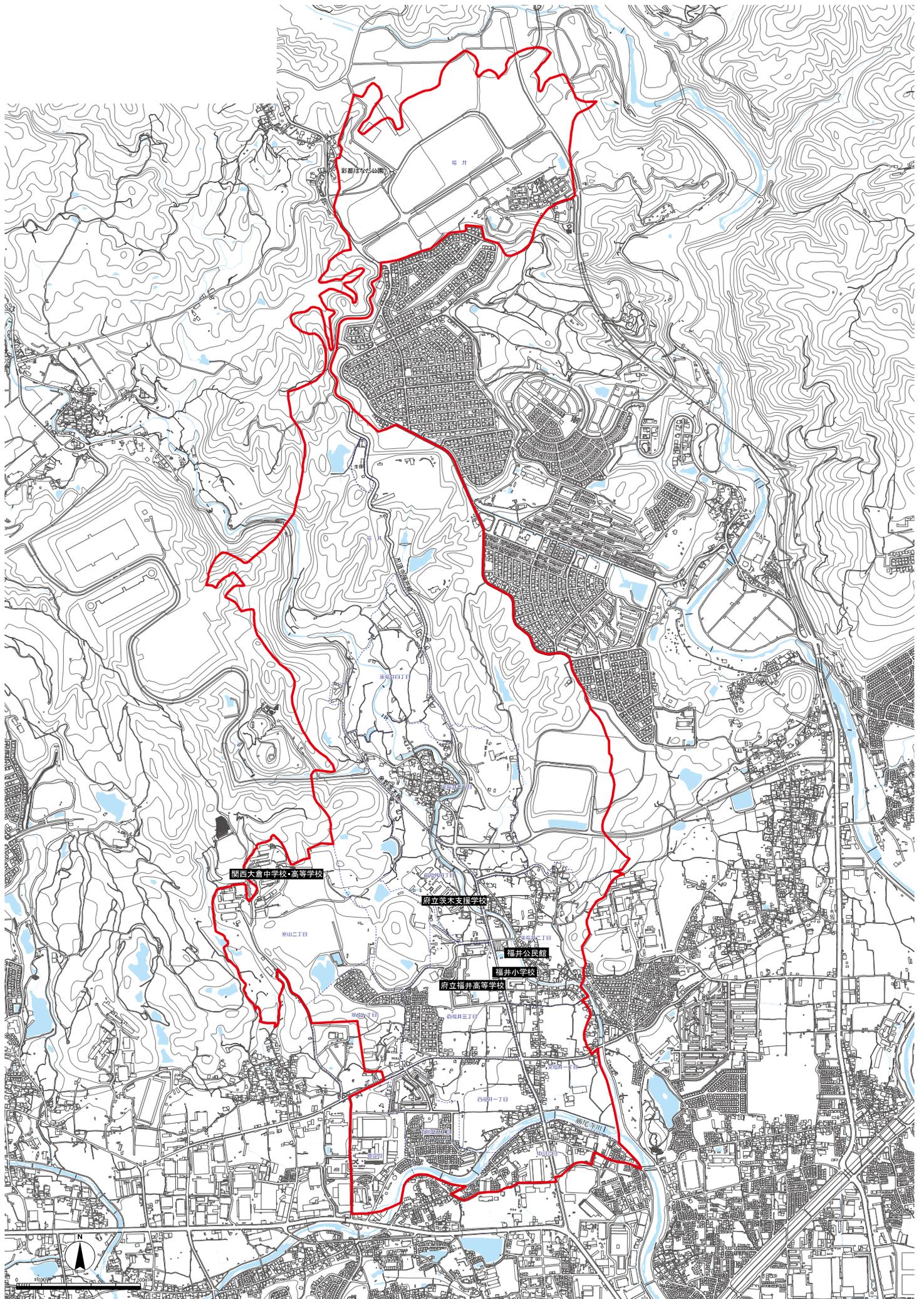
次回（第2回）予定

今日話し合った、福井の魅力と課題
将来像をもとに・・・

福井地区の夢を実現するための
アイデアを考よう

2022年9月11日（日）
13時30分～15時30分





第2回資料

“住み続けたいまち”を目指して、 福井地区の未来を考えよう

第2回

2022年9月11日（日）13:30-15:30



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	福井の魅力と課題、 将来像を考えよう	・魅力と課題を洗い出すことで、「福井はこんなまちだ」といった現在のまちの姿を共有し、また「こんなまちにしていきたい」といった将来像をみんなで共有します。
第2回	福井地区の夢を実現 するためのアイデア を考えよう	・将来像（夢）を実現するために、「関連する今ある活動」と「今後取組が必要な活動」をみんなで共有します。
第3回	福井地区の夢を実現 するための具体的な 方法を考えよう	・できるだけ具体的なプランを考え、次年度以降（と言わずにすぐにでも？）の取り組みにつなげていく機運を盛り上げることを目標とします。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

福井の夢を実現するための アイデアを考えるワークショップ

- 13:30- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 13:45- ワークショップ①
「将来像(夢)」を実現するためのテーマや方向性を考えよう
- 14:25- ワークショップ②
「将来像(夢)」に関係する今やっていることを整理しよう
「将来像(夢)」実現するためのアイデアを考えよう
- 15:05- 発表・意見交換
- 15:25- 今後に向けて・閉会挨拶



第1回WS：福井の魅力と課題まとめ①

		1班	2班	3班	4班
自然・防災	魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの生き物(カワセミ、ホタル、魚、オタマジャクシ等)がいる ・ウサギや地域の野菜が給食に出る ・川の水が綺麗で川遊びできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼが多く、お米がおいしい。昔は酒米を生産していた ・緑豊かで眺望が素晴らしい ・小川さんのマンゴー ・ホテルがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校の下の方でホテルが多くなった ・川、田んぼ、山、畑によって四季を感じられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・上福井は空気・水がきれい ・季節ごとに情景が変化する ・ホテルが飛んでいる ・自然災害が少ない(偶然ないだけ?)
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水害がある(昭和42年の北摂豪雨) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の後継者不足 ・佐保川と勝尾寺川にはさまれているので防災面が心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難施設の場所が偏っている ・防災力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井小学校が避難場所に向いていない(中河原からだ途中に川) ・災害(水害)への不安 ・山の開発が進み緑がなくなった
歴史	魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡街道、中河原交差点の史跡の道標、古墳、神社 ・小学校の2～3年生の「おたからさがし」の授業 ・福井の歴史の本もできている 	<ul style="list-style-type: none"> ・新屋神社、真龍寺をはじめとする歴史遺産 		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な場所が多い。合戦跡、西国街道橋の本陣、紫金山古墳では銅鏡が出土、中川瀬兵衛生家、福井城址、新屋神社
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人に歴史を伝えられていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史豊かなことが知られていない、学ぶ機会がない ・祭りなど宗教色のある行事への理解に差がある 		<ul style="list-style-type: none"> ・魅力をPRできていない、知らない人も多い
交通	魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・便利な店 ・交通の便が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物で便利で医療機関も充実している ・国道があり、駅、高速も近い ・アルプラザが便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路のICや駅が近く、大阪市内へのアクセスもよい ・アルプラザが便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・道がよく、ツーリングやサイクリングに適している ・道路の整備が進んできた ・国道171号線にも名神にも近い
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでバス便が減ってしまった ・渋滞がひどい 	<ul style="list-style-type: none"> ・北部開発によって交通量が増加し、渋滞が発生している。 ・道が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所によって利便性に格差がある ・バスが少ない ・資生堂の工場見学バスと干渉する ・高齢者には利便性が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・物流センターができたことによる大型車の交通量の増加、夜間の振動、渋滞

第1回WS：福井の魅力と課題まとめ②

	1班	2班	3班	4班
コミュニティ	魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・顔が見えるつきあい ・人情、人のつながりが濃厚(特に農林部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人情深い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・公民館・福祉が非常に活発に行動し行事運営している ・新屋神社の祭り(神輿、太鼓)、運動会、夏祭り ・主催団体だけでなくいろんな立場の人が行事に関わっている ・老人会が訪問して孤立を防ぐ
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が動けていない ・転勤が多い ・賃貸の方は顔もわからない ・マンションは定住意識低い ・連合に入らない自治会がある ・高齢世帯の増加 ・府営団地の高齢化 ・空家問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく住んでいる人とのつながりがない ・自治会連合未加入地区がある ・地域活動の担い手の負担が大きく、世代間ギャップが大きい ・新しい住民が入りにくいイメージがある ・空き家が増えている ・公民館の新築と整備が必要 ・祝儀・寄附金の要請が多すぎる ・高齢一人暮らしが多い ・地域リーダーに高齢者が多い ・子供の数が激減 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が少ない ・若い人がいなくなる ・草むしりなど自治会活動の負担が大きい
その他		<p>スポーツ 福井サンボーイ、福井高校</p> <p>文学 『コーヒーが冷めないうちに』の川口俊和の出身地</p> <p>公園 バンダ公園、住宅地に公園が少ない</p>	<p>北と南の地域差 過疎化を受け入れる体制が出来ていない、南の方はインフラが整っている。北部は改善しない</p> <p>公園 公園の管理が不十分、公園に規制が多い、保育所に通う前の子たちの遊び場がない</p>	<p>暮らし アルプラザ等大型店</p>

福井地区の将来像（1班）

みんなが集まるたまり場のある福井のまちづくり

将来像を決めるにあたって出た主な意見

人口維持と開発のバランス

- ・児童数が減ってしまう
- ・若い人を増やしたい
- ・Uターン者を増やしたい
- ・調整区域は残して自然環境を維持したい
- ・今の福井の良さを残したまちづくり

若い人にとっての魅力

- ・楽しい行事で魅力発信
- ・空き家をリノベ(デイサービス「いっぷく」)
- ・畑、農家住宅を活用。里山で遊んで失敗して学ぶ
- ・子どもの居場所づくり(駄菓子屋、子ども食堂、読み聞かせ場所)
- ・多世代があつまれる場所づくり(飲み屋、喫茶店、レストラン)

地域交通

- ・渋滞の解消
- ・亀岡街道を逆走する車の問題
- ・信号のタイミングに問題はない?
- ・子供の安全な通学路
- ・コミュニティバスを走らせ、通勤・通学・買い物に活用。

生活の利便性と歴史・緑の共存

将来像を決めるにあたって出た主な意見

交通の利便性	コミュニティ	歴史・文化	自然環境
<ul style="list-style-type: none">・ 国道や高速が近いのは便利・ 北部開発による交通量の増加・交通渋滞・ 道が狭い、もう少し広く	<ul style="list-style-type: none">・ 地域活動における世代間ギャップが大きい・ 新しく住み始めた人とつながりがない・ 担い手の負担が大きい・ 祝儀・寄附金の要請が多い・ 持続可能な、顔が見えるつながり	<ul style="list-style-type: none">・ 寺社仏閣や歴史遺産が多い・ スポーツ・文学・ 歴史の豊かさを学ぶ機会が無い・ 祭りなど宗教色のある行事への理解に差がある・ 子供が誇れる・好きになれるように	<ul style="list-style-type: none">・ 緑豊かな田園風景・ 山と川・ 農業後継者不足・ 水害対策は大丈夫？

ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり

将来像を決めるにあたって出た主な意見

地域内での連携・協力	農業や自然	若い人の参加
<ul style="list-style-type: none">・ 相談相手がわからない・ 問題を一括で受け入れる組織がなく、たらい回しにされる・ 自治会どうしの連携を増やす	<ul style="list-style-type: none">・ 農業の魅力を活かす・ 農家の高齢化、担い手不足・ ふれあい祭りに特産品を出せる人に制限がある	<ul style="list-style-type: none">・ 自治会活動に若い人が来ない・ 子供の遊び場がない

みんながより関わり支え合う福井

将来像を決めるにあたって出た主な意見

行事のリーダー	支える人・団体	地区に関わる人
<ul style="list-style-type: none">・ 地域で毎月行事・催しがある・ 行事はそれぞれの主催団体を協力団体が支えて運営・ 各団体が行事ごとに支え合うようになっている	<ul style="list-style-type: none">・ 活動の洗い出し・整理・ 辞めるのは簡単だが、どうすれば続けられるか検討する・ 民生委員や保護司とも協力したい	<ul style="list-style-type: none">・ 無関心な人への声かけ・ コミュニティに入ってほしい・ 仕事を明確にして不安を軽減

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

グループでの話し合い

- ① 「将来像(夢)」を実現するためのテーマと取組の方向性を考えよう
- ② 「将来像(夢)」実現するためのアイデアを考えよう

話し合いのゴール（目的）

将来像（夢）を実現するために、「関連する今ある活動」と「今後取組が必要な活動」をみんなで共有します。

→今ある活動のブラッシュアップや、団体間の連携、新たな取組につながる「気づき」が生まれることを期待します。

話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

色紙ゲーム

いくつかの質問をしますので、
色紙を挙げてお答えください



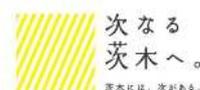
福井地区に何年住んでる？

30年以上

20年以上30年未満

10年以上20年未満

10年未満



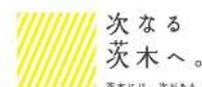
福井地区のいいところは？

利便性が高い住環境

豊かな自然環境

人のつながり・コミュニティ

特にない



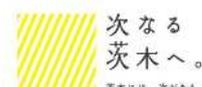
福井地区の課題は？

団体間の連携ができていない

情報共有ができていない

活動やイベントが多すぎる

上記3つ全て



お互いの活動を知ろう

活動紹介

福井校区活動紹介シート	
①団体名・氏名	
②活動概要・主な催しイベント等	
③活動していて良かったこと	
④活動を続けていくうえでの悩み・課題	

お帰り頂く際に、回収します。できるだけ読み取れるようにご記入ください。



ワークショップ①

前回の議論を踏まえて、「将来像(夢)」を実現するためのテーマと取組の方向性を考えよう

模造紙イメージ

将来像 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○					
テーマ① こんなふうになったらいいな こんな取組が必要		テーマ② こんなふうになったらいいな こんな取組が必要		テーマ③ こんなふうになったらいいな こんな取組が必要	

テーマについては、各班で前回の振り返りを行いながら決定します。
 取組は、「活動・取組・習慣・仕組み等」を想定しています。



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



ワークショップ②

現在の課題を整理して、「将来像(夢)」実現するためのアイデアを考えよう

現在の活動の改善策や新たなアイデアを考えよう

将来像 ○○○○○○○○○○○○○○○○○					
テーマ①		テーマ②		テーマ③	
今やっていること	←課題や悩み	今やっていること	←課題や悩み	今やっていること	←課題や悩み
今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア	今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア	今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア

今回考えた改善策やアイデアについては、次回のワークショップで具体的なプランを検討します。



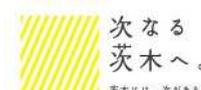
発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ① 「将来像(夢)」を実現するためのテーマ
- ② 「将来像(夢)」実現するためのアイデア

1 グループ5分以内でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、話し合いの材料を用意します。



次回（第3回）予定

今日話し合った、改善策・アイデアをもとに・・・
福井地区の夢を実現するための
具体的な方法を考えよう

2022年10月10日（月）
13時30分～15時30分



福井校区活動紹介シート

	①団体名・氏名
	②活動概要・主な催 しイベント等
	③活動していて良 かったこと
	④活動を続けていく うえでの悩み・ 課題

お帰り頂く際に、回収します。できるだけ読み取れるようにご記入ください。



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

【生活の利便性と歴史・緑の共存】

2班

(ワーク①「将来像(夢)」を実現するためのテーマと取組の方向性を考えよう)

	テーマ① 子供が誇れる好きになれるまち	テーマ② 持続可能な顔が見える繋がり
こんなふうになつたらいいな	<ul style="list-style-type: none"> ・福井に行く福井に帰る(子どもたちが大人になった時、福井に「帰る」と言ってもらえるまちづくり、ふるさとづくり) ・福井に関わった子供たちの故郷。(行くではなく“帰る”まち) ・歴史文化のテレビ、映画(福井が舞台になる) ・福井の魅力(歴史・緑)を知っている ・地域と学校の連携 ・安全安心(見守られていることを感じられる) ・子どもたちの集団。遊びの見直し ・みんなで一つの事に取り組む遊び(脱テレビゲーム) ・大きくなっても福井に住みたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続して世代間が交流できる事業の立ち上げ(楽しみながらできる内容を考える) ・他人の子供を叱れるまち(地域) ・「家に帰るだけの福井」からの脱出 ・高齢化が進む中で隣近所のつきあいを深めていきたい →深めることがなぜ必要なのか、深める手段は ・何事も持続可能なためには無理するのはダメ。役は多くの人に振り向ける(薄く広くがキー) ・薄く、広く、長く関わっていく
こんな取組が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ここならではイメージした公園を作る ・福井のすばらしさを認識するために歴史散策をする ・子供と大人が地域の事、歴史を学ぶ ・子どもたちに福井をもっと知ってもらう体験 ・子供が学校以外で繋がれる活動 ・歴史を学べる場を提供する(講座等) ・子どもが参加したくなる「郷土学習」の機会提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を持った「世代間交流」が出来る活動 ・年配者と若者が地域の事について一緒に話し合う場を定期的に創設(地域についての意識向上)
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校以外で繋がれる、集えるまち 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが集えるまちづくり ・子どもが集える場所づくり <p>(子供の時(小学校時代)から人間関係の希薄化が進んでいるので)</p>	

【生活の利便性と歴史・緑の共存】

2班

(ワーク② 現在の活動の改善策や新たなアイデアを考えよう)

	テーマ① 子供が誇れる好きになれるまち	テーマ② 持続可能な顔が見える繋がり
今やっていること	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民を対象に生涯学習活動の推進(関心の掘り起こし) ○小学生の農業体験(福井は農村！) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体での地域活動
課題や悩み	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民を対象に生涯学習活動の推進 ・参加者、関わる人が限られている ・単発のイベントになっている ・広報は全世帯に配布しているが関わる人が増えない ○小学生の農業体験 ・農業体験学習は、今のままで十分か？ ○子どもの遊ぶ場、機会 ・昔は子供が「遊び・イベント」を企画していたが、今の子供は出来ない→子どもをまとめるガキ大将がない ・子どもの中でも学年間交流が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間、横のつながりが少ない ・どこに誰が住んでいるか知らない ・役をやるときの負担が大きい。何らかのインセンティブが与えられないか？ ・福井地区での団体活動は団体間でのみ完結。各団体を調整する場がない
今やっていることの改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民を対象に生涯学習活動の推進 ・学習テーマを皆から募集する ○小学生の農業体験 ・子どもの農業体験学習の機会の拡充(回数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間に分かる活動(子供、高齢者のみならず、その間の世代も) ・各団体を統括的にみる場を設け調整する(活動を見直す機会。意見を言う)
新たなアイデア取組	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子供の福井(ウォッチング) ・山を使った「プレーパーク」 ・福井を福井っ子で紹介。ユーチューブ等使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人材の発掘、掘り起こし ・コミュニティを進め各種団体の横のつながりを深める ・各種イベント、事業を一丸となって取り組む

(第2回のまとめ)

	テーマ① 子供が誇れる好きになれるまち	テーマ② 持続可能な顔が見える繋がり
アイデアの方向性や取組の考え方	①福井に関わった子どもが大人になった時に、「帰りたい」と思えるふるさとづくり ②子どもの時から、「大人になっても住みたい」と思えるまちづくり ③福井の魅力(生活の利便性と歴史・緑)を知ってもらう ・歴史文化のテレビ、映画(福井が舞台になる) ④地域と学校が連携する ⑤子どもたちが、地域の大人に「見守られている」ことを感じられる ⑥子供たち、子どもと大人と一緒に外で遊ぶ(脱テレビゲーム)	①他人の子供を叱れるまち ②「家に帰るだけの福井」からの脱出 ③高齢化が進む今、隣近所付き合いを深める ④無理のない地域活動 ⑤関わる範囲は幅広く、関係性はほどほどに、長く関わる、付き合っていく
取組のアイデア	・ここならではのイメージした公園を作る ・福井のすばらしさを認識するために歴史散策をする ・子供と大人が地域の事、歴史を学ぶ ・子どもたちに福井をもっと知ってもらう体験 ・子供が学校以外で繋がる活動 ・歴史を学べる場を提供する(講座等) ・子どもが参加したくなる「郷土学習」の機会提供 ・親と子供の福井(ウォッチング) ・山を使った「プレーパーク」 ・福井を福井っ子で紹介。YouTube等使う	・持続して世代間が交流できる事業の立ち上げ(楽しみながらできる内容を考える) ・目的を持った「世代間交流」が出来る活動 ・年配者と若者が地域の事について一緒に話し合う場を定期的に創設(地域についての意識向上) ・色々な人材の発掘、掘り起こし ・コミュニティを進め各種団体の横のつながりを深める ・各種イベント、事業を一丸となって取り組む

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

ワークショップ①

前回の議論を踏まえて、「将来像(夢)」を実現するためのテーマと取組の方向性を考えよう

模造紙イメージ

将来像 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<p>テーマ①</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> </div>	<p>テーマ②</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> </div>	<p>テーマ③</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> こんなふうになったらいいな </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white;"> こんな取組が必要 </div> </div>
--	--	--

テーマについては、各班で前回の振り返りを行いながら決定します。
 取組は、「活動・取組・習慣・仕組み等」を想定しています。



ワークショップ②

現在の課題を整理して、「将来像(夢)」実現するためのアイデアを考えよう

現在の活動の改善策や新たなアイデアを考えよう

将来像 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○					
テーマ①		テーマ②		テーマ③	
今やっていること	←課題や悩み	今やっていること	←課題や悩み	今やっていること	←課題や悩み
今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア	今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア	今やっていることの改善策	新たな取組等のアイデア

今回考えたアイデア（活動・取組・習慣・仕組み等）について、次回のワークショップで具体的なプランを検討します。



第3回資料

“住み続けたいまち”を目指して、 福井地区の未来を考えよう

第3回

2022年10月10日（月） 13:30-15:30



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	福井の魅力と課題、 将来像を考えよう	・魅力と課題を洗い出すことで、「福井はこんなまちだ」といった現在のまちの姿を共有し、また「こんなまちにしていきたい」といった将来像をみんなで共有します。
第2回	福井地区の夢を実現 するためのアイデア を考えよう	・将来像（夢）を実現するために、「関連する今ある活動」と「今後取組が必要な活動」をみんなで共有します。
第3回	福井地区の夢を実現 するための具体的な 方法を考えよう	・できるだけ具体的なプランを考え、次年度以降（と言わずにすぐにでも？）の取り組みにつなげていく機運を盛り上げることを目標とします。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

福井の夢を実現するための 具体的な方法を考えるワークショップ

- 13:30- 開会挨拶・前回の振り返りなど
- 13:40- アイデア深めるヒントにしたいたい事例の紹介等
- 14:00- ワークショップ
- 15:05- 発表・意見交換
- 15:25- 今後に向けて・閉会挨拶



1班

【みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり】

(第2回のまとめ)

	テーマ① 住んでいる人の居場所づくり	テーマ② 若い人を呼び込める アクション	テーマ③ 空き家と空き地の活用を 促進する活動
アイデアの 考え方や 方向性	①居場所づくりの事業に取り組む ⇒近くに居場所のあるまち ②昼間の居場所が必要 ③地域に出てくるきっかけとなりうる居 場所が必要(ちょっとコーヒーを飲める 場所など)	①若い人を呼び込むための「共働きの 支援」 ②放課後教室の活性化	①空き家が増えてくるが、若い人に空いた ところに住んでもらうようにする「居 住の循環」を考える ②空き家の活用に向けた活動
取組の アイデア	・補助金事業の活用 ・空き家の活用による居場所づくり ・居場所運営の人材の確保が必用 ・子どもも高齢者も遊び集える場(放課後 教室と、高齢者の居場所づくりを学校で行 えれば、子どもも高齢者も遊べる)	・放課後教室に関わる人材の確保	・地域の事情をよく知っている民生委員、 福祉委員などの連携 ・空き家活用の関係者の連携をリードす る人、コーディネートする人が必要(お 寺の住職・ふるさと応援隊的な人など) ・自治会の活動としてやっていく ・NPOを組織して活動できると良い

【生活の利便性と歴史・緑の共存】

2班

(第2回のまとめ)

	テーマ① 子どもが誇れる好きになれるまち	テーマ② 持続可能な顔が見える繋がり
アイデアの方向性や取組の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ①福井に関わった子どもが大人になった時に、「帰りたい」と思えるふるさとづくり ②子どもが「大きくなって住みたい」と思えるまちづくり ③福井の魅力(生活の利便性と歴史・緑)を知ってもらう <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化のテレビや映画の舞台になるまち ④地域と学校が連携する ⑤子どもたちが、地域の大人に「見守られている」ことを感じられるまちづくり ⑥子どもたち、子どもと大人と一緒に外で遊ぶ(脱テレビゲーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ①他人の子どもを叱れるまち ②「家に帰るだけの福井」からの脱出 ③高齢化が進む今、隣近所の付き合いを深める ④無理のない地域活動 ⑤関わる範囲は幅広く、関係性はほどほどに、薄く、広く、長く関わっていく
取組のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・「ここならではの」のある公園を作る ・福井のすばらしさを認識するために歴史散策をする ・子どもと大人が地域の事、歴史を学ぶ ・子どもたちに福井をもっと知ってもらえる体験 ・子どもが学校以外で繋がれる活動 ・歴史を学べる場を提供する(講座等) ・子どもが参加したくなる「郷土学習」の機会提供 ・親子での福井探検・散策(ウォッチング) ・山を使った「プレーパーク」 ・福井を福井っ子が紹介。ユーチューブ等使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続して世代間が交流できる事業の立ち上げ(楽しみながらできる内容を考える) ・目的を持った「世代間交流」が出来る活動 ・年配者と若者が地域の事について一緒に話し合う場を定期的に創設(地域についての意識向上) ・色々な人材の発掘、掘り起こし ・コミュニティを進め各種団体の横のつながりを深める ・各種イベント、事業を一丸となって取り組む

【ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり】

3班

(第2回のまとめ)

	テーマ① 地域内での連携・協力	テーマ② 農業や自然	テーマ③ 若い人の参加
アイデアの方向性や取組の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ①各団体の情報の見える化を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ①人を呼び込めるモノと呼び込むための基盤をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ①親子で参加できるイベントを継続的に行う ②子どもが福井に戻ってきたくなくなるようなイベントを行う
取組のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ②(農業や自然)とテーマ③(若い人の参加)の取組を実施してみながら、見える化の練習を行ってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して、福井を代表するブランド品をつくり、PRする 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体が協力して取り組む

【みんながより関わり支え合う福井】

(第2回のまとめ)

	テーマ① 行事(各団体が連携している)	テーマ② 役員(みんなが役割を分担している)
取組の方向性やアイデアの考え方	①一つの行事を複数の団体で実施する ②曜日や時間帯等に関係なく使用や集会が出来る施設がある	①仕事を公平、平等に分担する ②役員一人の負担を少なくする ③各団体の役員等になって活動に参加する人を増やす
取組のアイデア	・個別イベントを合体させる ・知力、財力、イメージ力を出し工夫して場所づくりをする	・役員の任期を明確化する ・会議等を減らす ・引継ぎを丁寧で分かり易くする ・災害時の連絡網を整理する
	テーマ③ 告知(行事情報が行きわたっている)	テーマ④ 参加人数(参加人数が増えている)
取組の方向性やアイデアの考え方	・活動を知ってもらう、関心持ってもらおう ・今、活動していることを知ってもらう ・告知の新しい手法を検討する ・行事の広報活動を増やす	①活動にみんな進んで参加してくれるように ②今ある行事を改善し、持続可能な形にする ・若い世帯が地区内のイベント等に参加できる ・年配者と若者がともに活動できるテーマ等がある ③子どもたちが福井の土地に愛着を持つことができる ④他の地区にない得意な分野がある
取組のアイデア		・参加人数や開催曜日等を検討する ・ネーミングを工夫する:地名をまとめるイメージ ・年齢を問わない行事を増やす ・巻き込む手法としては、子どもから親、若い人へ ・子どもが参加する行事を増やす ・魅力のあるイベントを企画する ・自然を活用して生産できるもので福井の名物をつくる ・ツールとして食を大事にする

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[福井地区]

これまでのWSを振り返って

	将来像	テーマ
1班	みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり	①住んでいる人の居場所づくり ②若い人を呼び込めるアクション ③空き家と空き地の活用を促進する活動
2班	生活の利便性と歴史・緑の共存	①子どもが誇れる好きになれるまち ②持続可能な顔が見える繋がり
3班	ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり	①地域内での連携・協力 ②農業や自然 ③若い人の参加
4班	みんながより関わり支え合う福井	①行事(各団体が連携している) ②役員(みんなが役割を分担している) ③告知(行事情報が行きわたっている) ④参加人数(参加人数が増えている)

共通の悩みごと	アイデアを深めるうえで、考慮したい視点
担い手の高齢化・減少	・地域に関わる人をどうやって増やす？
活動が多くて大変	・今、頑張っている人たちが活動疲れしないようにするには？ ・活動の見直し、作り直し、統合
団体間の連携・情報共有がうまくいってない	・連携の促進、情報共有のために必要な仕組みは？ ・新たな連携、情報共有のやり方(ツール)は？

アイデア深めるヒントにしたい 事例の紹介



●活動を楽しんでもらう工夫

疲れる掃除も視点を変えればイベントに?!

その日、君の住ま町が巨大なゲーム空間になる。

～清走中 In 諏訪池～
市田地蔵・カサツク橋

9.23	10:00-12:00 (祝) 13:00-15:00 (祝)
9.26	10:00-12:00 (祝) 13:00-15:00 (祝)
10.3	10:00-12:00 (祝) 13:00-15:00 (祝)

参加費：参加料/無料
お弁当/購入1,000円・子供500円

定員：各年次別/20名
オンライン/40名

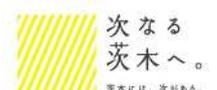
主催：株式会社 Gab

参加申し込みや
詳細はこちら！

<https://www.seisouchu.com/>



長野県「清走中」



●活動を楽しんでもらう工夫

準備や片付けも参加者と楽しもう
(お客さんにしない!)



茨木市「らくがき広場」



ハンズオン埼玉「おとうさんのヤキイモタイム」



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

●地域の居場所づくり

住民自らがつくる地域の安心居場所「町の縁側」

人と人、人と活動、人と地域がゆるやかにつながり合える「まちの縁側」を育むことによって、市民による新しいまちづくり活動による豊かで安心した地域社会を創り出しています。

自宅の離れを開放したお茶のみサロン

公民館で毎月開催する仲良し広場



出典：ボランティアネットながの

地域のあらゆる場所を開放し、気軽につながりあえる場「まちの縁側」を増やしていくことで、多種多様な居場所づくりをしています。

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

●地域の居場所づくり

空き家を活用して、新たなコミュニティを創出

●空き家を活用したシェアハウス



・1階はフリースペースとして活用
・不定期で食事会やイベントを開催

●空店舗を活用した地域子育て支援拠点



主に就学前の親子が自由に遊んだり、交流できる場を提供

●空き家を活用したコミュニティデイハウス

・市内在住 65 歳以上を対象にレクリエーション活動や介護予防のための講座等を実施
・週2回「かるがも子ども食堂」に場所を貸しており、子どもと高齢者の交流が生まれている



●空店舗を活用したパン教室 コミュニティ&レンタルスペース

・空き家を活用しパン教室をオープン
・「食を通じた地域のコミュニティスペース」をめざし、パン教室の空き時間には住民もレンタルできるコミュニティスペースに！



出典：茨木市空き家活用事例集

空き家や空き店舗を活用して、地域でつながる・交流するような場が生まれています。

●こどもが地域活動に参加するための工夫

地域と学校の連携強化と学生へのインセンティブ

中学生に地域活動へ参加してもらうために、様々な取り組みを実施

「①あいさつ運動・ポスターの掲示」

「②上飯田地区青少年指導員協議会コミュニティリーダーの育成」

「③地域と学校の連携強化」

・地域のボランティア活動に2回以上参加した中学生をコミュニティリーダーに認定し、認定証と副賞を贈っています。

地域と学生がともに取り組む活動～交流の場をつくるために～

「①小学校の芝桜植え」

「②地域と小・中学生の交流グラウンドゴルフ

→ゲーム終了後、お汁粉と焼きそばを食べながら「どんなまちにしたいのか」意見交換

「③公園および、中学校周辺の清掃」

「④学生が、体育祭に競技役員として参加」

「⑤学生が、地域福祉保健計画推進会議に参加し意見交換

横浜市泉区「上飯田連合自治会」



「子どもと大人と一緒に活動をする」「子どもとの意見交換・交流を大切にする」「自分たちのことを知り、一緒に考える」ことが大切

●地域の特産品開発

中学生が地元事業者と協力して特産品を開発

- 和歌山県田辺市新庄中学校
 - ・コロナ禍で中止になった「職場体験」に代わる職業教育として企画。
 - ・地元の事業者を講師に、地域産品や商品開発、広報、販売時の接遇などを学習。



- 沖縄県中城村立中城中学校
 - ・総合学習の時間を使い、特産品の開発にチャレンジ
 - ・各クラスが地元食材の1つを担当し、どのような商品にするか検討。
 - ・「島ニンジン→焼き菓子」、「トウガン→スープ」、「マンゴー→アイス」、「トマト→カレー」として商品開発
 - ・生徒たちが店頭での販売も担当



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

●活動をみんなに知ってもらう工夫

気軽に情報を伝えられる場づくり



神戸市「みんなの掲示板」



浅草観光センター

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

●活動をみんなに知ってもらう工夫

情報共有・情報発信は紙や掲示板でなくても・・・

LINE公式アカウントを開設している地域組織も増えてきています。LINE公式アカウントでは、公式アカウントとつながるので、参加のハードルが低く、「使い慣れたLINE」なので、気軽に見てもらうことができます。



茨木市内でも、公式アカウントを活用して、情報共有や情報発信を円滑に進めている自治会もあります。



グループでの話し合い

- ①これまでの内容を踏まえて、やってみる「取組」を考えよう（選ぼう）
- ②「将来像(夢)」を実現するために必要な「取組」のアイデアや内容を深めよう

話し合いのゴール（目的）

これまで話し合ってきた内容を踏まえて、将来像（夢）を実現するためのアクションを考えます。

→ビジョンでなく、「アクション」にしていくために、「具体的な計画」を検討します。



将来像を実現するためのアクションを考える

アクションシートをみんなで作成しよう

1班 みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり	
①テーマ	
②取組名称（プロジェクト名称）	
③具体的な内容（やること）	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある取組を見直す、作り直して、負担を減らしていくアクション ・新たにチャレンジする、広げていくアクション
④誰が（誰と連携して）やる？	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間で連携して取り組むことができますか？ ・負担が大きくなっていませんか？
⑤最初の一步（何からはじめる？いつから？）	
⑥スケジュール（いつ、どのように進めていくか）	
⑦これから考えないといけないこと（必要なもの・こと・ひと・かね・支援など）	

前回出たアイデアや、今回思いついたアイデアからアクションを考える「取組」を選んで、アクションシートを作成してください。



今日は深めることができなかつたけど、今後やってみたいアクションの種を蒔きましょう

アクションの種シート

1班 みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり			
①テーマ	住んでいる人の居場所づくり	若い人を呼び込めるアクション	空き家と空き地の活用を促進する活動
②取組名称（プロジェクト名称）			
③具体的な内容（やること）			

今回考える「アクションシート」は、地域で今後新たにチャレンジしていくことを考えていくものです。
 今回「アクションシート」を作成できなかったものは、2ndチャレンジや今後の参考に、「アクションの種シート」に記入してください。



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ① 「将来像(夢)」を実現するためアクション
- ② 今後深めたい「アクションの種」

1 グループ5分以内でお願いします



WSのまとめ①

	将来像	テーマ	アクション(取組名称)
1班	みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり	①住んでいる人の居場所づくり ②若い人を呼び込めるアクション ③空き家と空き地の活用を促進する活動 ④子育ての負担感を減らす取組み(第3回WSで出たテーマ)	・若い人を増やすための空き家・空き地の活用 ・ファミサポの実施促進、利用促進 ・地域が子育てを支える。学校も支える
2班	生活の利便性と歴史・緑の共存	①子どもが誇れる好きになれるまち ②持続可能な顔が見える繋がり	・福井人材育成“聞き書き体験”甲子園 ・各種団体の活動一覧リストの作成から始めるコミュニティ協議会のあり様検討
3班	ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり	①地域内での連携・協力 ②農業や自然 ③若い人の参加	・とりあえず、情報発信！！ ・いろいろな人の声をきこう！！(小学校編)
4班	みんながより関わり支え合う福井	①行事(各団体が連携している) ②役員(みんなが役割を分担している) ③告知(行事情報が行きわたっている) ④参加人数(参加人数が増えている) ⑤子どもを一番に考えた、伝統行事の継承(第3回WSで出たテーマ)	・後継者の育成 ~組織(地域コミュニティ協議会)づくり構想~

- ・全3回を通して、福井の「将来像」、将来像を実現するための「テーマ」と「アクション」について、話し合いました。
- ・次頁以降に、今後新たにチャレンジしていくために作成した「アクションシート」を掲載しています。
- ・①～⑦で空白のところは、今後も継続的に話し合うことで、内容を深めていくことが大切です。

[1班 アクションシート ①]

1班 みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり

①テーマ	・空き家と空き地の活用を促進する活動
②取組名称 (プロジェクト名称)	・若い人を増やすための空き家・空き地の活用
③具体的な内容 (やること)	・空き家の状態をほぐしてあげる(売却などができる状況をつくっていく) ・そのためのコーディネーターが必要 ・既存の役員などの負担にならないように取り組む必要がある。
④誰が(誰と連携して)やる?	・コーディネーターをってもらう人材の人探しのところから考える必要がある。 ・ボランティアで集まってもらう必要があるか? ・新たな取組み体制を考える必要がある ・しがらみなどもあるので既存組織ではない方がよい ・NPO法人をつくることもできるとよいが、大変 ・コミュニティ協議会に部会をつくるのがよいのでは。 ⇒スタートはコミュニティ協議会の部会として取り組んでいく ⇒取組みが軌道に乗れば、その後にスピンアウトして独立的な組織で取り組むようにするイメージ (連携して取り組む体制を考えるうえで期待できる人材?) ・行政、不動産、当人、地域(不動産屋の関わり方は考える必要がある) ・まちかどでサービスの運営者 ・就職が理想だが、中心になるのは難しいか…
⑤最初の一步	—
⑥スケジュール	—
⑦これから考えないといけないこと	・コミュニティ協議会で「空き家に関する部会」の設定をどうするかについて議論していく。

1班 みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり

①テーマ	・子育ての負担感を減らす取組み
②取組名称 (プロジェクト名称)	①ファミサポの実施促進、利用促進 ②地域が子育てを支える。学校も支える
③具体的な内容 (やること)	①ファミサポの実施促進、利用促進 ・PTAの役が多い問題 ・子どもをとりまく活動が多い ・PTAの役割分担を考えて会長の負担を減らすことも必要 子育て層の負担を減らすために ・ファミサポが増えると良い→会議に出る時に預けることができる ・利用することで世代間のつながりも広がる ②地域が子育てを支える。学校も支える ・地域とPTAや子供会などの関係性を見直せないか。 ・子ども会の合併はできないか(連合はなくなるが) ・役を持つのはむつかしくても、何か1つ手伝うだけならやってもらえるかもしれない。
④誰が(誰と連携して) やる?	・ファミリーサポートは、子育てを卒業した年代が担うことができる
⑤最初の一步	・ファミリーサポートは知られていない面もあるので、PR方法を考える。 ・今の親御さんがどのようなところに負担を感じているのか知るところからはじめる。
⑥スケジュール	—
⑦これから考えないとい けないこと	—

2班 生活の利便性と歴史・緑の共存

①テーマ	・子どもが誇れる好きになれるまち&持続可能な顔が見えるつながり
②取組名称 (プロジェクト名称)	・福井人材育成“聞き書き体験”甲子園
③具体的な内容 (やること)	①地域が“聞き書き”してもらおう“活動”“人”を選出 ②福井の小・中・高に呼びかけ ③応募してきた学生に地域が「話をして」「一緒に体験する」 ④学生が地域に「報告」「発表」する
④誰が(誰と連携して) やる?	・主 ……コミュニティ協(準備委員) ・連携先…子ども会、PTA、学校 ・取材先…農家、福祉委員、公民館講師、各スポーツ団体 ・企業、自治連、自主防災会 +α(組織に属していない人) ・団体でなく個人も(昔遊び知ってる人等)
⑤最初の一步	・地域の「人」「活動」のネタ探し(取材先) ・人材登録バンク ★ ・誰が何をしているか、得意かの把握
⑥スケジュール	・コミュニティ協議会発足後に検討
⑦これから考えないとい けないこと	・具体化してから考える ・学校がどれだけ連携してくれるか

2班 生活の利便性と歴史・緑の共存	
①テーマ	・持続可能な顔が見えるつながり
②取組名称 (プロジェクト名称)	・各種団体の活動一覧リストの作成から始めるコミュニティ協議会のあり様検討
③具体的な内容 (やること)	・各種団体の取組(活動)内容を一覧リストにまとめる
④誰が(誰と連携して) やる?	・主 ……コミュニティ協 ・連携 ……各種団体
⑤最初の一步	・準備委員会で整理
⑥スケジュール	・今年度中を想定
⑦これから考えないとい けないこと	・コミュニティ協議会のあり方について話し合い、合意形成 ・議論の継続

3班 ヒト・モノ・自然を生かした福井づくり	
①テーマ	・地域内での連携
②取組名称 (プロジェクト名称)	・とりあえず、情報発信!!
③具体的な内容 (やること)	・情報誌を準備委員会でつくる ・マイタウンの活用 ←公民館情報誌(柳団体のお知らせ)
④誰が(誰と連携して) やる?	・各団体で
⑤最初の一步	・WSの内容 ・発行!
⑥スケジュール	・11月に試作品 ・年末に発行 ・3月に総括の発行
⑦これから考えないとい けないこと	・興味を持ってもらう ・夢と現実の話を入れる ・反応をみたい “おもしろかった” ↓ ・LINE使う ・掲示板にシールとか ・かしこまった掲示板やめる

3班 ヒト・モノ・自然を生かした福井づくり	
①テーマ	・若い人の参加
②取組名称 (プロジェクト名称)	・いろいろな人の声をきこう！！(小学校編)
③具体的な内容 (やること)	・若い人の意見をもらう投書箱 ・子ども達、保護者の●に
④誰が(誰と連携して) やる？	・小学校の校長先生
⑤最初の一步	・投書箱の設置
⑥スケジュール	・情報誌を出してから ・年末に発行だから年末に ・年末に設置
⑦これから考えないとい けないこと	—

4班 みんながより関わり支えあう福井	
①テーマ	・子どもを一番に考えた、伝統行事の継承
②取組名称 (プロジェクト名称)	・後継者の育成 ～組織(地域コミュニティ協議会)づくり構想～
③具体的な内容 (やること)	・体験する、させるしくみをつくる ・行事の企画段階から、運営にも関わる ・地域の先輩等に世話になりながら、次世代につないでいくしくみやしかけ等をつくる(地域としての心のかよあい) ・大人に加えて中高生に手伝わせる ・リーダーを育成していく
④誰が(誰と連携して) やる？	子ども会、青少年会、PTA(親も巻き込む)の連携
⑤最初の一步	・しっかりしたマニュアルをつくる(人が変わっても、時間が空いても。問題なく実施できるように分かりやすいもの) ・どんど焼きの継続的な実施
⑥スケジュール	・実施できる人が居て、できるうちに実施していく
⑦これから考えないとい けないこと	・魅力ある運営や活動内容づくり ・情報発信のツールづくり(活動内容や取り組み状況等の発信)

WSのまとめ②

	将来像	テーマ	アクションの種(第2回WSで出たのアイデアも含む)
1班	みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり	①住んでいる人の居場所づくり ②若い人を呼び込めるアクション ③空き家と空き地の活用を促進する活動 ④子育ての負担感を減らす取組み(第3回WSで出たテーマ)	・子どもも高齢者も遊び集える場(放課後教室と、高齢者の居場所づくりを学校で行えれば、子どもも高齢者も遊べる)
2班	生活の利便性と歴史・緑の共存	①子どもが誇れる好きになれるまち ②持続可能な顔が見える繋がり	・「ここならではの」のある公園を作る ・子どもと大人が地域の事、歴史を学ぶ→福井歴史散策(クイズラリー等子ども参加型) ・子どもが参加したくなる「郷土学習」の機会提供 ・山を使った「プレーパーク」 ・福井を福井っ子が紹介(YouTube等)等使う ・公民館の「ハイキング」を「子ども」中心のものに変更
3班	ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり	①地域内での連携・協力 ②農業や自然 ③若い人の参加	・どんとのボランティア募集 ・関係機関と連携して、福井を代表するブランド品をつくり、PRする ・未来コンビニつくる(直売所など) ・子ども教室
4班	みんながより関わり支え合う福井	①行事(各団体が連携している) ②役員(みんなが役割を分担している) ③告知(行事情報が行きわたっている) ④参加人数(参加人数が増えている) ⑤子どもを一番に考えた、伝統行事の継承第3回WSで出たテーマ)	・役員の任期を明確化する ・会議等を減らす ・引継ぎを丁寧で分かり易くする ・災害時の連絡網を整理する

・今回「アクションシート」を作成できなかったものは、2ndチャレンジや今後の参考に、「アクションの種」としてアイデアを出し合いました。

福井 WS③ アクションシートまとめ

1班-1

1班	みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり
①テーマ	空き家と空き地の活用を促進する活動
②取組名称(プロジェクト名称)	若い人を増やすための空き家・空き地の活用
③具体的な内容(やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の状態をほぐしてあげる(売却などができる状況をつくっていく) ・そのためのコーディネーターが必要 ・既存の役員などの負担にならないように取り組む必要がある。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(空き家を取り巻く状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亡くなくても売れない状況 ・子どもが地区外に住んでいるので、親が引き取られるケースもある ・旧地区では新しい所に人が入ってくるような循環がない ・年1世帯はUターンしてくる </div>
④誰が(誰と連携して)やる?	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターをしてもらう人材の人探しのところから考える必要がある。 ・ボランティアで集まってもらう必要があるか? ・新たな取組み体制を考える必要がある ・しがらみなどもあるので既存組織ではない方がよい ・NPO 法人をつくることもできるとよいが、大変 ・コミュニティ協議会に部会をつくるのがよいのでは。 <p>⇒スタートはコミュニティ協議会の部会として取り組んでいく ⇒取り組みが軌道に乗れば、その後にスピンアウトして独立的な組織で取り組めるようにするイメージ</p> <p>(連携して取り組む体制を考えるうえで期待できる人材?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、不動産、当人、地域(不動産屋の関わり方は考える必要がある) ・まちかどでサービスの運営者 ・住職が理想だが、中心になるのは難しいか…
⑤最初の一步(何からはじめる?いつから?)	
⑥スケジュール(いつ、どのようにして進めていくか)	
⑦これから考えないといけないこと(必要なもの・こと・かね・支援など)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会で「空き家に関する部会」の設定をどうするかについて議論していく。

1班	みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり
①テーマ	子育ての負担感を減らす取組み
② 取組名称(プロジェクト名称)	①ファミサポの実施促進、利用促進 ②地域が子育てを支える。学校も支える
③ 具体的な内容 (やること)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(コミュニティの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人しか知らない状況 ・宮の前では若い人が増えてきてる ・若い人は顔も知らない状況 </div> <p>①ファミサポの実施促進、利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA の役が多い問題 ・子どもをとりまく活動が多い ・PTA の役割分担を考えて会長の負担を減らすことも必要 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">子育て層の負担感を減らすには？</div>  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミサポが増えるとよい → 会議に出る時に預かることなどができる ・利用することで世代間のつながりも広がる <p>②地域が子育てを支える。学校も支える</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(すでに行われている活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・放課後子ども教室 <li style="width: 50%;">・福祉体験学習 <li style="width: 50%;">・ゲストティーチャー <li style="width: 50%;">・田植え体験 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とPTA や子供会などの関係性を見直せないか。 ・子ども会の合併はできないか(連合はなくなるが) ・役を持つのはむづかしくても、何か1つ手伝うだけならやってもらえるかもしれない。
④誰が(誰と連携して)やる？	・ファイリーサポートは、子育てを卒業した年代が担うことができる
⑤最初の一步 (何からは始める？いつから？)	・ファミリーサポートは知られていない面もあるので、PR 方法を考える。 ・今の親御さんがどのようなところに負担を感じているのか知るところからは始める。
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	

2班-1

2班	生活の利便性と歴史・緑の共存
①テーマ	子どもが誇れる好きになれるまち & 持続可能な顔が見えるつながり
②取組名称(プロジェクト名称)	福井人材育成“聞き書き体験”甲子園
③具体的な内容(やること)	①地域が“聞き書き”してもらう“活動”“人”を選出 ②福井の小・中・高に呼びかけ ③応募してきた学生に地域が「話をして」「一緒に体験する」 ④学生が地域に「報告」「発表」する
④誰が(誰と連携して)やる?	・主 …コミュニティ協(準備委員) ・連携先…子ども会、PTA、学校 ・取材先…農家、福祉委員、公民館講師、各スポーツ団体 ・企業、自治連、自主防災会 + α (組織に属していない人) ・団体でなく個人も(昔遊び知ってる人等)
⑤最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	・地域の「人」「活動」のネタ探し(取材先) ・人材登録バンク ★ ・誰が何をしているか、得意かの把握
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	コミュニティ協議会発足後に検討
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	↑ 具体化してから考える ・学校がどれだけ連携してくれるか

2班-2

2班	生活の利便性と歴史・緑の共存
①テーマ	持続可能な顔が見えるつながり
②取組名称(プロジェクト名称)	各種団体の活動一覧リストの作成から始めるコミュニティ協議会のあり様検討
③具体的な内容(やること)	・各種団体の取組(活動)内容を一覧リストにまとめる
④誰が(誰と連携して)やる?	・ <u>主</u> …コミュニティ協 ・ <u>連携</u> …各種団体
⑤最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	・準備委員会で整理
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	・今年度中を想定
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	・コミュニティ協議会のあり方について話し合い、合意形成 ・議論の継続

3班-1

3班	ヒト・モノ・自然を生かした福井づくり
①テーマ	地域内での連携
②取組名称(プロジェクト名称)	とりあえず、情報発信！！
③具体的な内容(やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌を準備委員会でつくる ・<u>マイタウン</u>の活用 <li style="padding-left: 20px;">↑ 公民館情報誌(柳団体のお知らせ)
④誰が(誰と連携して)やる？	各団体で
⑤最初の一步 (何からはじめる？いつから？)	<ul style="list-style-type: none"> ・WSの内容 ・発行！
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に試作品 ・年末に発行 ・3月に総括の発行
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ってもらう ・夢と現実の話を入れる ・<u>反応をみたい</u> <li style="padding-left: 20px;">“おもしろかった” <li style="text-align: center;">↓ ・LINE 使う ・掲示板にシールとか ・かしまった掲示板やめる

3班-2

3班	ヒト・モノ・自然を生かした福井づくり
①テーマ	若い人の参加
②取組名称(プロジェクト名称)	いろいろな人の声をきこう！！(小学校編)
③具体的な内容(やること)	・若い人の意見をもらう投書箱 ・子ども達、保護者の●に
④誰が(誰と連携して)やる？	小学校の校長先生
⑤最初の一步 (何かからはじめる？いつから？)	投書箱の設置
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	・情報誌を出してから ・年末に発行だから年末に ・年末に設置
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	

4班

4班	みんながより関わり支えあう福井
①テーマ	子どもを一番に考えた、伝統行事の継承
②取組名称(プロジェクト名称)	後継者の育成 ～組織(地域コミュニティ協議会)づくり構想～
③具体的な内容(やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験する、させるしくみをつくる ・行事の企画段階から、運営にも関わる ・地域の先輩等に世話になりながら、次世代につないでいくしくみやしかけ等をつくる(地域としての心のかよいあい) ・大人に加えて中高生に手伝わせる ・リーダーを育成していく
④誰が(誰と連携して)やる?	子ども会、青少年会、PTA(親も巻き込む)の連携
⑤最初の一步 (何かからはじめる?いつから?)	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりしたマニュアルをつくる(人が変わっても、時間が空いても。問題なく実施できるように分かりやすいもの) ・どんど焼きの継続的な実施
⑥スケジュール (いつ、どのようにして進めていくか)	・実施できる人が居て、できるうちに実施していく
⑦これから考えないといけないこと (必要なもの・こと・かね・支援など)	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある運営や活動内容づくり ・情報発信のツールづくり(活動内容や取り組み状況等の発信) ・新規転入者をどのように巻き込んでいくか